

2019年4月18日  
東海旅客鉄道株式会社

## N700S確認試験車による速度向上試験について

2018年3月より走行試験を開始しているN700S確認試験車については、16両編成での基本性能試験のほか、バッテリー自走システムによる走行試験や様々な両数の編成が可能である「標準車両」として8両編成での走行試験を実施し、必要な性能を有していることを確認してきました。

このたびN700Sのポテンシャルを高い次元で確認するため、360km/hの速度向上試験を行いますのでお知らせします。

### ○速度向上試験の概要

- ・実施時期 2019年5月中旬～6月中旬 夜間
- ・走行区間 米原～京都間（下り線）
- ・最高速度 360km/h  
※5月中旬以降、順次速度向上し、最終的に360km/hでの走行試験を実施  
※標準車両の特長を活かし、モーターを搭載する車両を14両から16両へ変更

### これまでの営業車仕様の車両による試験最高速度

車両名称	最高速度	試験日	走行区間
300系	325.7km/h	1991年2月	米原～京都間
N700系量産先行試作車	330km/h	2009年11月	米原～京都間
N700S確認試験車	330km/h	2018年7月	米原～京都間

※試験専用仕様の300X試験車では、1996年7月に米原～京都間において443.0km/hを記録

### ※参考：これまで実施してきた主な走行試験

#### ◇バッテリー自走システム（高速鉄道で世界初）による基本性能試験

- ・試験内容 リチウムイオンバッテリーを搭載したバッテリー自走システムによる走行試験を約5km/hで実施し、機能に問題がないことを確認
- ・試験時期 2018年9月11日、12日

#### ◇8両編成（東海道新幹線管内で初）での基本性能試験

- ・試験内容 様々な編成両数に変更可能である「標準車両」としての性能を確認するため8両編成（モーター搭載車両は8両）での試験を実施し、機能に問題がないことを確認
- ・試験時期 2018年10月10日～2018年12月27日